



第55回卒業生 188名 天翔る大いなる未来へ！

3月12日（火）、本校体育館において、第55回卒業式が挙行されました。

今年度は久しぶりに全校生徒531名と卒業学年保護者、来賓の方々が一堂に会して、完成したばかりの新屋内競技場で盛大に執り行われました。前日までに1学年は校内装飾、2学年は式場設営を熱心に行い、卒業学年である3学年への祝福と感謝の気持ちを表しました。

さて、卒業式当日、卒業生の立派な姿に改めて感心しました。卒業証書を受け取る場面ではのたつとした返事、校歌や「手紙」「証」を合唱する場面、座っている姿勢や立ち居振る舞い、全てに3年間の成長を感じずにはられませんでした

思えば、コロナ禍で呼び掛けや十分な合唱はできないまま3年間が過ぎましたが、その場面、その瞬間にできる範囲で最高のものを創り上げました。50年を越える歴史と伝統あふれる西中学校、ここにあり！



「式辞」

春と冬が綱引きしながら、確実に新しい季節に向かっていきます。完成したばかりの新しい体育館で行う初めての卒業式。4年ぶりに在校生が参加し、ご来賓の皆さまをお迎えして、みんなで卒業生の門出を祝うことができることをうれしく思います。

今日この良き日、本校55回目の卒業生として卒業証書を手にした皆さん。卒業おめでとう。

3年前、皆さんは、完成まもない新校舎最初の入学生として本校の門をくぐりました。当時の西中は、コロナ禍ではありましたが、新校舎で新しい校風を作りあげようと、全校生徒が希望に満ちあふれていました。皆さんは、そんな意気揚々たる西中生の一員として、中学校生活をスタートさせ、勉強や部活動、学校行事に前向きに取り組みできました。本校では、令和元年度から、学校のきまりや生活を自分たちで話し合い、改善していこうという西中改革に取り組んでいます。皆さんが2年生になり生徒会の中心になった時、新たな試みとして「私服の日」を実施しました。他のどこの学校でも行っていない取組を通して、制服の意義を改めて考えるきっかけになりました。ボランティア活動にも積極的に取り組みました。生徒会長の呼びかけで行ったコンタクトレンズケースの回収をはじめ、ホテルの里の草刈りボランティア、市社会福祉協議会の協力のもと実施した赤い羽根共同募金や除雪ボランティアなど、多くの活動に率先して参加しました。

皆さんが取り組んできた西中改革や地域の一員として社会に貢献する姿勢は、後輩にもしっかり受け継がれています。3年間を振り返ってみると校舎の外では、旧校舎解体、新体育館建設と常に何かしらの工事が行われておりました。決して十分とはいえない環境の中で、工夫しながら困難を乗り越えてきました。ミニグラでのスポーツフェスティバル。ジャリやアスファルトの上での練習。リバーランドや壘学校に移動しての部活動。そうした中でも多くの部が各大会で好成績を収めました。逆境を乗り越え、目標を達成する姿は、正に本校の校訓である「望みを抱いて喜び 艱難に耐えなさい」そのものであります。

さて、4月から新たな一歩を踏み出す皆さんに、私から伝えたいことを一ついいます。

それは、「挑戦せずして成功なし」という言葉です。これは、かつてアメリカ大リーグで活躍した野茂英雄さんの言葉です。今から30年前、日本人大リーガーは一人もいませんでした。それ以前に一年だけ所属していた選手はいましたが、アメリカと日本の野球のレベルの差はとて大きく、日本人がアメリカで活躍するなんて、夢のまた夢といった時代でした。そんな常識を覆したのが野茂選手でした。日本では大活躍していても、アメリカでは通用しないという周囲の不安をよそに、一年目から活躍し、それ以後十年以上にわたって大リーグを代表する選手として活躍しました。

野茂選手の挑戦以降、少しずつ日本人選手がアメリカに渡るようになりましたが、多くの選手は活躍することなく日本に帰ってきました。その後、イチロー選手や松井選手が活躍し、現在、十人以上の日本人大リーガーがチームの中心選手として活躍しています。中でも大谷翔平選手は、アメリカ人をはじめ世界中からあこがれる存在として、テレビで見ない日はありません。もちろん大谷選手自身の才能と努力によるものと思いますが、野茂選手の日本の壁を打ち破る挑戦がなければ、大谷選手の活躍もなかったかもしれません。

皆さんがこれから歩む社会は、これまで経験したことのない世の中になるといわれています。多様な価値観が交錯する中で、前例のない大きな壁に突き当たるのがたくさんあると思います。そんな時は、勇気をもって挑戦してください。野茂選手は、挑戦した結果失敗しても、それは次の成功のエネルギーになる。挑戦する勇気が未来を切り拓くとも言っています。

中学校三年間、夢の実現に励んできた皆さんが、新たな志のもと、挑戦し続けることを強く願っています。

新校舎最初の入学生であり、新体育館最初の卒業生である一八八名が、次にどんな新しいステージに立っているのかを楽しみにしつつ、輝かしい前途を願い式辞とします。（一部省略させていただきました。ご了承ください。）

令和六年三月十二日

青森市立西中学校 校長 今別幸司

人生の先輩からのエール！卒業おめでとう！（PTA 会長祝辞&同窓会会長のことば）

3月11日(月)。卒業式の1日前に同窓会入会式が行われました。西中同窓会会長木立匡英様より卒業を迎える3年生に西中の歴史と同窓会の意義についてお話がありました。西中は滝内中と大野中の統合により誕生したことや昭和の50年代後半には全校生徒1693人のマンモス校であったこと、これまでの卒業生は約14000人であること、また、同窓会は母校の



充実のためにあることや母校を全力で支援、激励するためにあることが話されました。最後に「みなさんはたくさんの方の支えがあって今の自分があること」や「夢は見るものではなく、叶えるもの」という温かい言葉をいただきました。



3月12日(火)、卒業式当日は西中保護者と教師の会、会長小松史昌様より祝辞をいただきました。小松会長から「仲間たちと切磋琢磨したことや思い出を絶対に忘れないでください」「教えられることより、自分で学んでいくことが大切」であることなどを話していただき、「三年間、この西中学校で立派に過ごされた皆さんなら、自分に必要なものを見つけ出し、学んでいく力は十分にあるはずです。」という心強いエールを受けました。

2 学年ハートフルセミナー開催！思いやりの心を持つ大切さをみんなで学ぶ。

2月28日(水)、2学年全生徒を対象にNPO法人ウィメンズネットの方々によるハートフルセミナーが開催されました。周りの仲間との接し方や日常生活におけるハラスメントの危険性などについて、西中学区健全育成推進会議のみなさまの見守る中、ワークショップ形式で楽しみながら学びました。温かい心をもつ集団、2学年が新しい学校のリーダーズとしてさらに成長したようです。



西中学区健全育成推進会議開催。ご参集ありがとうございました。

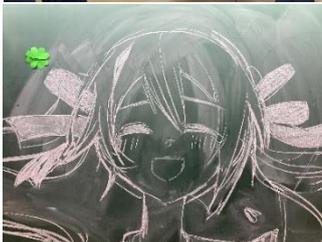


2月28日、西中学区健全育成推進会議が開催されました。横山会長を始め各町会長さん、民生委員の方々、三内丸山交番所長さん、学区小学校校長、学校評議員のみなさんなど出席のもと、会議冒頭には本校卒業生の中島くん作成の令和5年度版西中VTRを視聴し、1年間を振り返った後に本校の教育活動



について学校長よりお話がありました。来年度も西中学区の健全育成のために様々な場面でお世話になります。西中学区の子どもたちをよろしくお願ひします。

報難に耐え、夢の実現へススメ



4月の行事予定（3月末時点）

- 4日(木) 新入生1日入学
- 5日(金) 新2・3年生出校日、新任式
- 8日(月) 始業式、入学式
- 9日(火) 給食開始
- 13日(土) 3年午前出校 修学旅行結団式
- 14日(日) 修学旅行(～16日)
- 17日(水) 3年振替休業
- 18日(木) 全国学力・学習状況調査 国・数(3年)
new 避難訓練 new 尿検査
- 19日(金) 3年振替休業
- 22日(月) new 市教委指導課A訪問
- 24日(水) new 市中教研教科部会
- 25日(木) 心電図 new PTA総会
- 29日(月) 昭和の日

来年度も西中生はワクワクするような夢の実現へ進みます。今後も熱いご支援よろしくお願ひします。夢は続くよ Baby ランランラン 何処までも。